

CFS-T LUB

安全データシート

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

作成日: 2025 年 12 月 03 日 改訂日: 2025 年 12 月 03 日 前回の改訂日: 2019 年 12 月 19 日 バージョン:2.0

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 CFS-T LUB

製品コード BU Fire Protection

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 潤滑剤

会社情報

仕入先

日本ヒルティ株式会社

〒224-8550

日本〒神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎南 2-6-20

T +81 45 943 6211 - F +81 45 943 6418

hiltijapan@hilti.com

安全データシート発行部門

Hilti AG

9494

LiechtensteinSchaanFeldkircher Strasse 100

T +423 234 2111

product.compliance-fire.protection@hilti.com

緊急連絡電話番号

緊急連絡電話番号

Emergency CONTACT (24-Hour-Number):

GBK GmbH Global Regulatory Compliance

+49 (0)6132-84463

国	組織/会社	住所	緊急連絡電話番号	コメント
日本	Japan Poison Information Center Universiti Sains Malaysia	562-0036 Minoh City, Osaka	+81-72-727-2499	

2. 危険有害性の要約

ラベル表示適用外

処理時の追加危険有害性

通常の使用条件下では、重大な危険有害性はないと思われる。

CFS-T LUB

安全データシート

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

名前	濃度 (%)	化学式 (上書き)	官報公示整理番号		CAS 番号
			化審法番号	安衛法番号	
propylene carbonate	1 - 5	C4H6O3	(5)-524	既存化学物質	108-32-7

4. 応急措置

応急措置

応急措置 一般

被災者に意識がない場合は、口から何も与えないで下さい。

気分が悪い場合は医師の診察を受けて下さい。可能であれば絵表示を見せて下さい。

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

新鮮な空気を吸入させて。

被災者を休息させて下さい。

皮膚に付着した場合

汚染された衣服は脱衣し、ばく露した皮膚は、まずマイルドソープと水で洗い、その後ぬるま湯ですすぐ。

皮膚は多量の水で洗浄する。

眼に入った場合

直ちに大量の水で洗浄する。

痛みや発赤が続く場合は医師の診察を受けて下さい。

予防措置として眼を水ですすぐ。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。

無理に吐かせないこと。

直ちに医師の診察を受ける。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候及び症状

症状/損傷

通常の使用条件下では、重大な危険有害性はないと思われる。

症状/損傷 吸入した場合

通常の条件下では特に無し。

本製品から発生しうる粉じんは、吸い込み過ぎると呼吸器の炎症を引き起こす場合がある。

症状/損傷 皮膚に付着した場合

通常の条件下では特に無し。

粉じんは皮膚のひだまたは密着した衣服に接触することで刺激を起こすことがある。

CFS-T LUB

安全データシート

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

症状/損傷 眼に入った場合

通常の条件下では特に無し.

本製品の粉じんは、目の炎症を引き起こす場合がある.

症状/損傷 飲み込んだ場合

通常の条件下では特に無し.

医師に対する特別注意事項

その他の医学的アドバイスまたは治療

対症的に治療すること.

5. 火災時の措置

適切な消火剤

二酸化炭素, 砂, 水噴霧, 乾燥粉末消火剤, 泡消火剤

使ってはならない消火剤

強い水流は使用しないで下さい。

火災危険性

火災の危険は一切ない.

爆発の危険

直接に爆発する危険は全くない.

火災時の危険有害性分解生成物

加熱もしくは火災の際に有毒ガスを発生する可能性あり

消火方法

水噴霧や霧水で熱にさらされた容器を冷却して下さい.

化学物質の消火活動は慎重に行って下さい.

消火に使用した水が下水道や公共用水域に流出しないようにする.

呼吸器の保護を含め、適切な保護装置を使用せず、火災現場に入らないで下さい.

消火時の保護具

呼吸器の保護を含め、適切な保護装置を使用せず、火災現場に入らないで下さい.

適切な保護具を着用して作業する.

自給式呼吸器.

完全防護服.

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

一般的措置

In case of spills, beware of slippery floors and surfaces.

本製品が下水、または公共用水に流入した場合も、行政当局に通報する.

物的被害を防止するためにも流出したものを吸収すること.

非緊急対応者

保護具

推奨される個人用保護具を着用する.

応急処置

漏出エリアを換気する.

不要な人員を退避させて下さい.

CFS-T LUB

安全データシート

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

緊急対応者

保護具

適切な保護具を着用して作業する.

清掃人員に適切な保護具を支給して下さい.

詳細については、第 8 項の「ばく露防止及び保護措置」を参照.

応急処置

漏出した場所を換気する.

不要な人員を退避させて下さい.

環境に対する注意事項

環境に対する注意事項

環境への放出を避けること.

下水道や公共用水域への侵入を防いで下さい.

液体が下水道や公共用水域に流入した場合、行政に通知して下さい.

封じ込め及び浄化の方法及び機材

封じ込め方法

清潔なショベルを使用して、ドライコンテナに物質を入れ、圧縮せずに覆います.

浄化方法

製品は機械的に回収して下さい.

本物質およびその容器は各自治体の規定に準拠して安全に廃棄する.

製品は機械的に回収する.

地面にて適切なコンテナにさらってもしくは、すくって入れる.

他の物質から離して保管すること.

地面にて適切なコンテナにさらってもしくは、すくって入れる.

粉じんの生成を最小限に減らす.

他の物質から離して保管すること.

その他の情報

物質または固形残留物は公認廃棄物処理施設で廃棄して下さい.

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

データなし

安全取扱注意事項

作業所の十分な換気を確保する.

個人用保護具を着用して下さい.

飲食前、喫煙前、または作業終了後は、手および汚染箇所を低刺激性石鹼と水で洗浄する.

作業エリアでは十分な換気を行い蒸気の発生を予防して下さい.

CFS-T LUB

安全データシート

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

接触回避

データなし

衛生対策

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

製品取扱い後には必ず手を洗って下さい。

処理時の追加危険有害性

通常の使用条件下では、重大な危険有害性はないと思われる。

保管

安全な保管条件

必ず元の容器に保管し、換気の良い冷暗所に保管し、下記の物質を遠ざける：
使用しない場合は、容器は密閉しておく。

安全な容器包装材料

データなし

技術的対策

涼しくて、よく換気された場所で、熱から離して保存する。

混触禁止製品

強塩基. 強酸.

混触禁止物質

発火源. 直射日光.

容器包装材料

製品は必ず元の容器と同じ素材の容器に保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策

作業所の十分な換気を確保する。

保護具

個人用保護具

不必要なばく露を避ける, 防護眼鏡, 防護服, 手袋

呼吸用保護具

通常の使用条件下では、呼吸保護具は必要ではない。

手の保護具

適切な保護手袋 を着用すること, 浸透時間は衣類を着ていられる最大時間ではありません！一般にはこの時間より短く設定する。混合物、または異なる物質との接触により、保護機能の有効期間が短くなる可能性があります

タイプ	素材	透過	厚さ (mm)	浸透	規格
	ニトリルゴム (NBR)	6 (> 480 分)	≤0,38		

眼の保護具

Use eye protection according to EN 166, 化学用ゴーグルまたは保護メガネ, 保護メガネ

皮膚及び身体の保護具

適切な保護服を着用して下さい。

個人用保護具シンボル



環境へのばく露の制限と監視

環境への放出を避けること。

その他の情報

使用中は飲食かつ喫煙を避けて下さい。

CFS-T LUB

安全データシート

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	固体
外観	ペースト状の
色	ベージュ色
臭い	特異臭
pH	データなし
融点	データなし
凝固点	非該当
沸点	データなし
引火点	非該当
自然発火点	非該当
分解温度	データなし
可燃性	不燃性
蒸気圧	データなし
相対密度	データなし
密度	1 g/cm ³
相対ガス密度	データなし
溶解度	水に溶けない.
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	データなし
爆発限界 (vol %)	非該当
動粘性率	非該当
粒子特性	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	通常の使用、保管、運送の状況下では、当製品は反応しません。
化学的安定性	決定していない。
危険有害反応可能性	決定していない。
避けるべき条件	直射日光。極度に高温または低温。
混触危険物質	強酸。強塩基。
危険有害な分解生成物	煙霧。一酸化炭素。二酸化炭素。毒性ガス。有毒性蒸気を放出する恐れがある。

CFS-T LUB

安全データシート

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

11. 有害性情報

潜在的な健康有害性及び症状	利用可能なデータに基づいて、分類基準を満たしていない
急性毒性 (経口)	データなし
急性毒性 (経皮)	データなし

propylene carbonate (108-32-7)	
急性毒性 (経口)	ラット LD50 の報告が 3 件あるが、いずれも 29000mg/kg 以上 (IUCLID (2000)) である。
急性毒性 (経皮)	ウサギ LD50 値>20000mg/kg (IUCLID (2000)) との記載による。
急性毒性 (吸入:気体)	GHS の定義における液体である。
急性毒性 (吸入:蒸気)	ラットの試験で死亡例なし (PATTY (5th, 2001)) の報告があるが、暴露濃度の記述が不明であり、データ不足により分類できない。
急性毒性 (吸入:粉じん、ミスト)	データなし。
LD50 経口 ラット	> 5000 mg/kg BW (OECD 401: Acute Oral Toxicity, Rat, Male / female, Experimental value, Oral, 14 day(s))
LD50 経口	29000 mg/kg
LD50 経皮 ウサギ	> 2000 mg/kg BW (OECD 402: Acute Dermal Toxicity, 24 h, Rabbit, Male / female, Experimental value, Dermal, 14 day(s))
LD50 経皮	20000 mg/kg

皮膚腐食性／刺激性	データなし
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	データなし
呼吸器感作性	データなし

propylene carbonate (108-32-7)	
呼吸器感作性	データなし。

皮膚感作性	データなし
-------	-------

propylene carbonate (108-32-7)	
皮膚感作性	ヒトのパッチテストで感作性なし (not sensitizing) (IUCLID (2000)) との報告があるが詳細は不明であり、データ不足により分類できない。

CFS-T LUB

安全データシート

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

生殖細胞変異原性

データなし

propylene carbonate (108-32-7)

生殖細胞変異原性	in vivo のデータが無く分類できない。尚、in vitro 試験（エームズテスト、染色体異常試験）で陰性（IUCLID (2000) ）の報告がある。
----------	--

発がん性

データなし

propylene carbonate (108-32-7)

発がん性	データなし。
------	--------

生殖毒性

データなし

propylene carbonate (108-32-7)

生殖毒性	データなし。
------	--------

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

データなし

propylene carbonate (108-32-7)

特定標的臓器毒性(単回ばく露)	データなし。
-----------------	--------

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

データなし

propylene carbonate (108-32-7)

特定標的臓器毒性(反復ばく露)	モルモット、イヌの 21 日間の吸入暴露試験でガイダンスの区分 2 に該当する 2.8mg/L/6h (90 日換算値 : 0.65mg/L/6h) の用量で影響なしの報告（IUCLID (2000) ）、ラットの 21 日間の吸入ばく露試験のガイダンスの区分 2 に該当する 2.8mg/L/6h (90 日換算値 : 0.65mg/L/6h) の用量で荒い呼吸、下痢がみられたとの報告がある。またラットに 1 ヶ月間経皮投与した試験で、皮膚の過角質化、基底細胞の増加が認められたの報告があるが投与量等の詳細は不明である（いずれも（IUCLID (2000) ））。いずれもガイダンスの範囲内での影響が明確ではない事から分類できないとした。
-----------------	---

誤えん有害性

データなし

CFS-T LUB

動粘性率	非該当
------	-----

CFS-T LUB

安全データシート

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

12. 環境影響情報

生態毒性

生態系 - 全般	本物質は水生生物に対して有害とは考慮されず、また、環境に対しても長期的な有害な影響を及ぼさない。
水生環境有害性 短期（急性）	データなし
水生環境有害性 長期（慢性）	データなし

propylene carbonate (108-32-7)

水生環境有害性 短期（急性）	魚類（コイ）での96h-LC50>1000mg/L、甲殻類（オオミジンコ）での48h-EC50>1000mg/L、藻類（Scenedesmus subspicatus）での72h-EC50>900mg/L（3試験ともIUCLID, 2000）より区分外とした。
水生環境有害性 長期（慢性）	急速分解性があり（28日のBOD分解度=79%、GC分解度=89%（既存化学物質安全性点検データ, 1993））、急性分類が区分外であることから、区分外とした。
LC50 - 魚 [1]	> 1000 mg/l (EU Method C.1, 96 h, Cyprinus carpio, Semi-static system, Fresh water, Experimental value, Nominal concentration)
EC50 - 甲殻類 [1]	> 1000 mg/l (EU Method C.2, 48 h, Daphnia magna, Static system, Fresh water, Experimental value, Nominal concentration)
ErC50 藻類	> 900 mg/l (Equivalent or similar to OECD 201, 72 h, Desmodesmus subspicatus, Static system, Fresh water, Experimental value, GLP)
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	-0.41 (Weight of evidence approach)
有機炭素吸着係数 (Log Koc)	0.81 (log Koc, QSAR)

残留性・分解性

CFS-T LUB	
残留性・分解性	決定していない。
propylene carbonate (108-32-7)	
残留性・分解性	Readily biodegradable in water.
生化学的酸素要求量(BOD)	0.046 g O ₂ /g substance
化学的酸素要求量(COD)	1.29 g O ₂ /g substance

CFS-T LUB

安全データシート

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

生体蓄積性

CFS-T LUB

生体蓄積性	決定していない。
-------	----------

propylene carbonate (108-32-7)

生体蓄積性	Not bioaccumulative.
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	-0.41 (Weight of evidence approach)
有機炭素吸着係数 (Log Koc)	0.81 (log Koc, QSAR)

土壌中の移動性

CFS-T LUB

土壌中の移動性	データなし
---------	-------

propylene carbonate (108-32-7)

表面張力	No data available in the literature
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	-0.41 (Weight of evidence approach)
有機炭素吸着係数 (Log Koc)	0.81 (log Koc, QSAR)
生態系 - 土壌	Highly mobile in soil.

オゾン層への有害性

オゾン層への有害性

データなし

その他の有害な影響

その他の情報

環境への放出を避けること。

13. 廃棄上の注意

推奨製品/梱包処分

国、地域の規制に準拠して廃棄すること。

管轄当局の規制に準拠して廃棄すること。

廃棄方法

許可を得た収集業者の分別回収に準拠して内容物／容器を破棄すること。

残余廃棄物

環境への放出を避けること。

地域の廃棄規則

管轄当局の規制に準拠して廃棄すること。

CFS-T LUB

安全データシート

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

推奨下水処理

管轄当局の規制に準拠して廃棄すること。

追加情報

空の容器を再利用しない。

14. 輸送上の注意

ADR / IMDG / IATA / RID / に準ずる

ADR	IMDG	IATA	RID
14.1. 国連番号または ID 番号			
規制されていない	規制されていない	規制されていない	規制されていない
14.2. 国連正式品名			
規制されていない	規制されていない	規制されていない	規制されていない
14.3. 輸送危険物分類			
規制されていない	規制されていない	規制されていない	規制されていない
14.4. 容器等級			
規制されていない	規制されていない	規制されていない	規制されていない
14.5. 環境有害性			
規制されていない	規制されていない	規制されていない	規制されていない
補足情報なし			

14.6. 使用者向け特別な安全対策

道路輸送

規制されていない

海上輸送

規制されていない

航空輸送

規制されていない

CFS-T LUB

安全データシート

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

鉄道輸送

規制されていない

14.7. IMO 規定に基づくバルク輸送

非該当

14.8 国内規制

その他の情報

補足情報なし

15. 適用法令

国内法令

労働安全衛生法

【改正後 令和 8 年 4 月 1 日以降】

名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第 57 条第 1 項、施行令第 18 条第 2 号～第 3 号、安衛則第 30 条別表第 2）

【改正後 令和 8 年 4 月 1 日以降】

名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第 57 条の 2 第 1 項、施行令第 18 条の 2 第 2 号～第 3 号、安衛則第 34 条の 2 別表第 2）

炭酸プロピレン（別表の番号：1191）（5%未満）

海洋汚染防止法

有害液体物質（Z 類物質）（施行令別表第 1）

外国為替及び外国貿易法

輸入貿易管理令第 4 条第 1 項第 2 号輸入承認品目「2 の 2 号承認」

輸出貿易管理令別表第 1 の 16 の項

輸出承認貨物・特定有害廃棄物等（法第 48 条第 3 項、輸出令第 2 条別表第 2 の 35 の 2 の項）

特定有害廃棄物輸出入規制法（バーゼル法）

特定有害廃棄物（法第 2 条第 1 項第 1 号イ、平成 30 年 6 月 18 日省令第 12 号）

16. その他の情報

参考文献

指令 67/548/EEC 及び 1999/45/CE の廃止・改定、規制 (EC) No1907/2006 の改定に
係る 2008 年 12 月 16 日付け物質及び混合物の分類、ラベル、包装に関する欧洲議会及び
理事会規制 (EC) No 1272/2008.

SDS 改訂理由

update emergency number

その他の情報

なし.

CFS-T LUB

安全データシート

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

改訂情報			
項	変更アイテム	変更	コメント
			update, correction

本書は、あくまで本製品の健康、安全性、環境への配慮等に関わる情報のみを、現在の知見に基づき記載するものであり、製品に関する何らかの特性を保証するものではない。